

東京都立五日市高等学校全日制課程コモンルーブリック

2020年4月1日

	育成すべき資質能力	[S] Exemplary	[A] Accomplished	[B] Developing	[C] Beginning	備考
		模範的段階	達成段階	発展途上	基礎力	
学 力	学びに向かう力	授業で獲得した知識・技能を基に、進学後など将来の進路をふまえて次に何をどう学ぶか、目標はどこか等、自己のキャリアを考えて学びを計画し実行することができる。	授業内容を十分に理解し、予習に重点を置き、授業中は予習での疑問点や未理解の部分を補うことに充てられる。	予習と授業での集中した取り組み、学習内容の定着のための復習を意識して取り組める。	授業（学習活動、頭脳作業等）に集中できる。	●授業に臨む基本姿勢[B]から、授業で十分獲得した後の姿勢[S]までを整理。
	学び続ける力	授業で獲得した知識・技能を基に、その内容に留まらず、自ら文献等で深めたり、学ぶ範囲を関連分野に広げたりする意欲が持てる。	授業内容を十分に理解し、授業から一歩進んで、考査や大学受験に向けて、発展問題や応用問題に取り組むことができる。	毎日一定の家庭学習時間を設け、授業の復習等の自主的な学習を継続し、習慣として実施できる。	授業での提出課題等を家庭において欠かさず実施することができる。	
	学びを活用する力	授業で獲得した知識・技能を基に、専攻する分野や課題など、活用できる場を自ら模索発見し、挑戦していくことができる。	授業内容を十分理解し、学校行事や部活動などの学校生活や各種検定受験の場面で活かすことができる。	漢字を日常生活の中で積極的に用いたり、身近な現象を解説しようとするなど、授業での学習内容を、生きた知識として扱うことができる。	授業での学習内容を、級友や保護者との会話の中で話題にできる。	
	学びを共有する力	授業で獲得した知識・技能を基に、相互に検討や協議等を重ねて深めたり、さまざまなツールを活用して適切に発信できる。	授業内容を十分に理解し、授業等の教育活動が円滑にすすむように配慮すること（下級生や欠席者への解説や質問に答えることなど）ができる。	グループ学習に参加（発言、会話、まとめ等）できる。	自分の言葉で発表やレポートにまとめることができる。	
	育成すべき資質能力	[S] Exemplary	[A] Accomplished	[B] Developing	[C] Beginning	備考
探 究 力	課題を見出す力	実社会の諸事象を対象として、社会に貢献できるような視点で課題を見出すことができる。	既知の事実にも注目し、懐疑的な視点からの問い掛け（課題認識）ができる。	様々な対象に興味関心を寄せて、自らの課題として問い掛けること（動機付け）ができる。	対象を注意深く観察し、状態や変化等を把握したり、質問の意図を理解して正対した回答をしたりすることができる。	●探究活動における段階的目標を設定している。
	情報を収集・整理・分析する力	獲得した情報を検証や提言に向けて活用できるように整理するとともに多面的多角的に分析し精度の高い情報にすることができる。	目的に則して適切な方法を選択して情報分析ができる。数値データについては統計的手法で分析できる。	シンキングツールの特性を生かして情報と情報の関係性を可視化して自分の考えを相手に伝わりやすいように情報を整理できる。	何を調べるのかを明確にして適切な調査方法(文献調査、観察、現地調査)を選択し情報収集ができる。	
	論理的に思考する力	仮説を立て、論理的に検証するのに適切な方法を選択し、自らの主張を立証できる。	論理的記述を理解でき、その論証の過程や手法に倣って、自分の見解をまとめることができる。	獲得した情報の妥当性を検証したり、根拠を基に一貫した主張をまとめることができる。	複数の資料を比較して共通点及び相違点を見付け、それぞれの論拠を指摘できる。	
	発信する力	説得力のある話を構築し、効果的な図表等を駆使したプレゼンテーションができる。	自分の考えや発見についてポスターに表現でき、それを用いて聴衆に伝えることができる。	読み手に自分の考えが伝わるように根拠を示して論理的に構成した文章を書くことができる。	事実と意見を区別しながら、目的に則して情報を整理しながら文章を読み進めることができる。	
	育成すべき資質能力	[S] Exemplary	[A] Accomplished	[B] Developing	[C] Beginning	備考
実 践 力	目標を見出せる力	SDGsのような国際的な取り組みやsociety5.0と呼ばれる社会において、自らが希望しかつ社会貢献できるキャリアの可能性を考え、選択をすることができる。	社会や職業について積極的に学び、自分の希望だけでなく、社会の中での果たすべき役割を理解したうえで、自己のキャリアをとらえることができる。	講演会や職場体験、職業インタビューなどを通して、社会で働くこととのために学ぶ必要があることを理解している。	現代社会について基本的に理解をしている。将来、自らが職業に就いて社会人としてキャリアを築くことを理解している。	●AIやIoTが進んだSociety5.0においては、職業や職種の将来の存続を見通すことは困難である。そのような状況の中でも、自己のキャリアを実現を目指す。
	目標の課題事項を見つける力	自身の適性、能力、スキルを踏まえ、希望のキャリアが求める能力や資質などを理解して、目指す方向と目標を絞り込むことができる。	進路行事、教科学習、校外活動などを通して得た知識や経験及び各種検査等から自分を診断できる。	職業人講演会や職業インタビュー、職場体験を通して職業や社会への理解を深め、自己の能力や適性を検討し、将来のキャリアを考えることができる。	自分の長所や短所、特性を理解している。	
	目標達成に向けて計画する力	自己の将来を考え情報を収集し、キャリアプランを面談や進路ガイダンスなどを通して作成することで、学びの意欲を高め、能力を向上させることができる。	自己の能力と適性を理解し、キャリアパスを絞り込み選択教科の決定ができる。ドリームプランを作成し、本校を卒業した後の学びと身に付けるべき能力を考えることができる。	自己の希望と能力、適性を検討したうえで、将来就きたい職業に至るまでのキャリアパスについて情報を収集し、考えることができる。	本校で学びを通して、自己実現を図っていく意欲を持っている。	
	計画を実行できる力	キャリアプランに基づいて、自己の希望を実現するために、学習を習慣化し、生活習慣を律し、努力を続けることができる。	考査や各種テスト、プレゼンテーションなどの目標に向けて学習計画を立て実行し、生活習慣を自ら管理し、結果を分析して振り返り改善を図ることができる。	学習や生活の計画と目標、結果を記録することを通して、将来のキャリアにむけて、学校生活を主体的に過ごすことができる。	基本的な生活習慣が確立しており、はじめのある家庭生活と学校生活を送ることができる。	
	育成すべき資質能力	[S] Exemplary	[A] Accomplished	[B] Developing	[C] Beginning	備考
協 働 力	自己の考えを整理する力	自らの責務を果たすことを通じて期待以上の成果を上げることができるとともに自らの成果を他に生かすことができる。	自己の能力や経験値を生かして、集団の目的達成のために自らの役割を全うすることができる。	集団の目的達成のために根気強く集団の中で自らの役割に取り組むことができる。	集団の中での自らの役割を認識して自発的な行動がとれる。	●どのように社会や集団と関わるかを前提に、委員会活動や行事、部活動等のすべての教育活動の中で育成する。
	他の考えを引き出す力	多様な価値観を持つ様々な人とコミュニケーションがとれ、円滑で生産的な関係を構築できる。	互いの人格を尊重しあい相手からも信頼される関係を築くことができる。	相手のことを慮り、また公共の精神に則り適切に意思伝達できる。	自分の意志を相手に伝えることができる。	
	集団の考えをまとめる力	構成員個々に配慮しつつ調和を図り、構成員の能力が発揮しやすい集団に発展させることができる。	所属する集団内で、より良い繋がりを作ろうと働きかけ、目的の達成感を分かち合える集団が作ることができる。	ルールを遵守して活動することで、所属意識を高め、連帯感のある集団にまとめることができる。	構成員の活動や働きに即した行動を取り、集団が成立する根拠を共有できる集団にまとめることができる	
	集団を動かす力	場面に応じて構成員の知識や能力を引き出し、活用できるよう調整し、集団の持つ潜在能力を全て発揮させて、期待以上の成果に導くことができる。	具体的なビジョンや行動を提案し、活動全般を率いたり、成果に繋げられるように各分担に働きかけて職務を完遂できる。	活動全体を俯瞰し、構成員に建設的な意見や具体的な提案ができる。構成員の取り組み状況に応じて支援や援助ができる。	構成員に所属する集団の役割を配分・指示できる。	
	<p>* 各ステージが修了する段階で身に付ける段階、それ以前に体得する者もいれば遅れをとる者もいる。</p> <p>* [S] 3学年修了時、 [A] 2学年修了時、 [B] 1学年修了時、 [C] 入学時（中学校卒業時点で身に付けることを期待する）</p>					